



発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者 昭和大学病院長 有賀 徹
編集責任者 広報委員長 河村 満
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
TEL：03-3784-8000（代表）

昭和大学病院のホームページ：<http://www.showa-u.ac.jp/SUH/>

昭和大学病院附属東病院のホームページ：<http://www.showa-u.ac.jp/SUHE/>

看護部長就任のご挨拶

看護部 城所 扶美子



4月1日より、粕谷久美子看護部長の後任として、大学病院および附属東病院の看護部長に就任いたしました。私は、大学病院に2013年2月まで勤務し、同年3月より昭和大学江東豊洲病院の開設準備と、開院後の運営に携わってまいりました。2年ぶりに旗の台に戻り、改めて大学病院の歴史やスケール、組織力を実感し、その責任の重大さに身の引き締まる思いで一杯です。もとより微力ではございますが、皆様のお力添えを頂き、職務に精励する所存です。

現在、医療を取り巻く環境は、大きな変化が求められています。少子超高齢化社会に向けて、地域包括ケアシステムの整備、病床の機能分化など、医療提供体制の改革が進められています。昨年度には「医療介護総合確保推進法」が施行され、看護に関連する法律も複数改正されました。また、チーム医療の推進として、各職種の役割拡大が挙げられています。各職種が専門性を発揮し役割拡大を進め、チームの一員として互いに連携することがさらに重要であると考えます。

看護部は「患者本位の安全で安心できる質の高い看護を常に提供し、同時に次世代を担う人材を育成します」を理念としています。より質の高い看護を提供するために、人材育成と人材の有効活用に取り組んでいます。人材育成として、屋根瓦体制による新人教育とジェネラリストの育成に力を注ぎ、人材活用では専門看護師（CNS）や認

定看護師（CN）、臨床教員など専門性の高い看護師・助産師が各現場で活躍しています。特に人材育成は、個人の成長が組織の成長につながると

考えております。互いに尊重し成長できる組織を目指したいと思っております。これらの活動を含め、チーム医療の一員として看護の力を発揮し、病院運営に貢献できるように努力したいと考えます。

私は、仕事への姿勢として、常に考えていることがあります。それは「キャリアデザインの3つの輪」です。「やりたいこと」「できること」「やるべきこと」で構成されます。それぞれの輪の重なりを大きくし、輪全体を大きくすることがキャリア形成には重要だといわれています。例えば、自分の「やりたいこと」だけを主張し、「やるべきこと」をしないと、自分勝手な人と思われてしまい、輪のバランスも悪くなります。「やりたいこと」をするために、組織から求められている「やるべきこと」で力をつけ、「できること」を増やし信頼を得ることが重要となります。今すべきことは何か、求められていることは何かを常に考え、変化を恐れずに、これからも様々な取り組みを進めたいと考えます。

これからも、皆様からのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

薬剤師レジデントについて

薬局 レジデント係 小川 泰葉
薬局 課長 田中 克巳

薬剤師レジデント制度とは

薬剤師レジデント制度とは、大学卒業後に病院などで薬剤師として働きながら研修を受け、臨床薬剤師の資質を向上させる制度です。この制度は各施設の判断で行う独自のもので、昭和大学統括薬剤部で実施しております。米国の制度を参考としており、日本でもレジデント制度を実施する病院が増えてきました。

統括薬剤部では、多くの疾患に対応できる「総合力」を持った臨床薬剤師を育成するために、複数の診療科で病棟業務を実施し、幅広い経験ができるようなプログラムを構築しています。平成 22 年度から本制度が開始となり、これまで修了した薬剤師レジデントは 42 名で、その多くの方々が医療現場で活躍しています。今年度は第 6 期生として 38 名の薬剤師レジデントを迎えています。研修期間は 1 年間で、大学病院のみならず、昭和大学の附属病院での研修も実施しています。

研修プログラムについて

4~5 月は、薬局内（調剤室、注射箋室、製剤室、DI 室、薬務室、外来化学療法室）をローテーションし、薬剤師としての基本スキルを身につけます。

6 月以降は、病棟研修が開始となり、2 ヶ月を 1 タームとし、「がん医療」「周術期管理」「全身管理」「急性期医療」を主軸とした計 5 病棟をローテーションします。病棟業務では、持参薬確認や服薬指導などの薬剤管理指導業務はもちろん、カンファレンスにも積極的に参加し、医療チームの一員として薬物療法を実践しています。

研修スケジュール

Activities	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大学病院	A group					B group						
北部病院	B group					A group						
藤が丘病院	C group					B group						
江東豊洲病院	B group					C group						
センター業務	① ② ③ ④ ⑤											
病棟研修 (MSF, case summary, ChD)	↑ ↑ ↑ ↑ ↑											
到達度確認試験	↑ ↑ ↑ ↑ ↑											
報告会	学生発表会			センター発表会			病棟発表会			卒業報告会		



多職種連携型の症例報告会の様子

多職種との関わり

薬剤師レジデントが中心となり、多職種連携型の症例報告会を実施しています。指導薬剤師だけでなく、症例に関わった医師、看護師などの病棟スタッフにも参加して頂き、それぞれの職種の観点からの意見も交えてディスカッションを深めます。薬学的な観点はもちろん、多角的視点で考える姿勢を身につけることは、今後臨床薬剤師として活動していくうえで非常に重要です。医療スタッフのみなさまにも、薬剤師レジデントの働きぶりや医療に取り組む姿勢を、是非評価して頂けましたら幸いです。



♪昭和大学病院1年目の新米薬剤師です！
ご指導よろしくお願いします♪



トレーニング中の様子

昨今、鏡視下手術の安全性が危惧されるなか、当科では10年以上前から鏡視下手術の安全性を重視した教育体制を構築してきました。病院全体としては、4年前から鏡視下手術を行う外科系の診療科や、チーム医療の大事な一員である手術室看護師も参加して行われてきました。例年、郡山のラボで行っていましたが、川崎に新しくラボが新設されたため、平成27年5月16日（土）、当日朝に集合して開催しました。開催に先立ち、川崎のラボ来訪2万人目との事で、その記念撮影から始まりました。セミナーは、基礎知識としての講義を行った後に、実際のトレーニングが行われました。各科の若手医師の真剣なトレーニングは当然の事ながら、看護師も鏡視

下手術において術中にモニターから目を離すことの危険性、鏡視下手術の難しさを実際に経験し、今後の臨床における円滑な手術進行のための役割を理解する機会となりました。昭和大学病院全体として、このように各科が一丸となって、今後も安全な鏡視下手術を提供できればと思っております。

平成27年度統括部長会主催ワークショップ開催報告

平成27年6月5日（金）、6日（土）の2日間、葉山IPC生産性国際交流センターにて、平成27年度統括部長会主催ワークショップが開催されました。今年度から参加者に江東豊洲病院も加わり、附属病院・他職種混合で計43名とファシリテータ9名が参加し、「病院間異動の意義について」をテーマとして、5つのグループに分かれ、様々な意見をぶつけ合い討論が行われました。

他職種混合のワークショップのため、職種を超えた交流ができ、参加者は有意義な時間を過ごすことができました。



統括部長会 WS 参加者 集合写真



グループ討論

院内コンサート報告

5月23日（土）中央棟1階エントランスホールにて、第66回院内コンサートを開催しました。“優しくアットホームなゴスペル”をテーマに讃美歌など全9曲を演奏。グループ名の“CHOUB”はヘブライ語で“回復する”の意味です。厳かな中にもアフリカン太鼓が力強く響き、元気をいただいた一時間でした。

奏者：「CHOUB GOSPEL CHOIR」（シューブ ゴスペル クワイア）
指揮・ピアノ 櫻田菊代（KIKI CHOUB）さん 他13名の皆さん

演 目：ソムランデラ、クンバヤマイロード、アメージンググ
レースなど8曲

讃美歌：いつくしみ深き（全員合唱）

参加者：126名

会場ボランティア：19名

職員：17名



シューブ ゴスペル クワイア 合唱

♪参加された方々の声♪

- ・「クンバヤマイロード」のエネルギッシュな歌声、アフリカン太鼓。よかったです。長い入院になっていたので新鮮な時間でした。
- ・ゴスペルを生で聴くのは初めて。心に響き、心が安らぎ…。手術を終えた後のごほうびのようなコンサートでした。
- ・感動しました。「アメージンググレース」を聴いて、涙が止まらなかった。素晴らしい時間をありがとう。

文責：管理第一課 ボランティア担当

クールビズ実施中

昭和大学では、平成27年5月1日（金）からクールビズに取り組んでおります。気象条件により一部変更いたしますが、室内温度は28℃に設定させていただきます。

皆さまのご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

期 間：

平成27年5月1日（金）～9月30日（水）



文責：管理第一課

昭和大学旗が丘盆踊り大会のお知らせ

旗の台キャンパスで昭和大学の関係者と地域の方々との交流を目的とした「第28回 昭和大学旗が丘盆踊り大会」を開催します。模擬店やゲームなどが催される屋台が多く並び、盆踊りも毎年多くの方々に参加されます。

老若男女楽しめるイベントが盛りだくさんなので、是非ご参加ください。

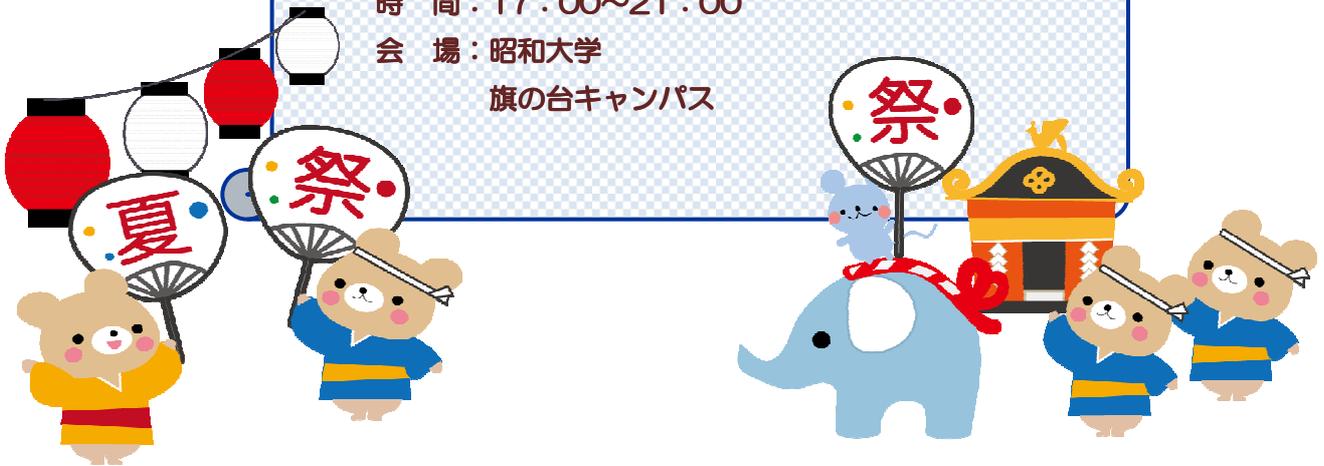


日 程：平成 27 年 7 月 24 日（金）～25 日（土）

時 間：17：00～21：00

会 場：昭和大学

旗の台キャンパス



文責：管理第一課

七夕ライトダウンのお知らせ

2003 年から地球温暖化防止のため、環境省から平成 27 年 6 月 22 日（月）～7 月 7 日（火）までの間は、CO₂ 削減の「ライトダウンキャンペーン」が実施されます。

七夕の日にライトダウンが行われる理由には、2008 年の G8 サミット（洞爺湖サミット：主に温暖化問題、世界経済等をテーマに話し合う主要国首脳会議）が日本の 7 月 7 日、七夕の日に開催されたことが契機です。特に 7 月 7 日は、地球を冷やす日「クールアース・デー」と定められています。

6 月 22 日（月）と 7 月 7 日（火）夜間に温室効果ガスの排出量削減と節電をめざし、各家庭・施設の全国一斉消灯の取り組みが行われます。

例年通り、今年も昭和大学病院と附属東病院もこの取り組みに参加いたしますので、どうぞご理解・ご協力のほどお願いいたします。



日程：平成 27 年 7 月 7 日（火）

時間：20 時～22 時

文責：管理第一課

この連載では5回にわたり診療記録の種類や記載について、法的位置づけなどについて述べてきました。今回はそれら診療記録を保管・管理している『診療録管理室』とその専門職種である『診療情報管理士』についてご紹介させていただきます。

まず診療記録の保管についてですが、旧来ほとんどすべての病院は診療記録が各診療科保管となっており、昭和大学病院も同様でした。しかし診療情報の一元化や各診療科の医師及び多職種の相互通覧、ひいては「チーム医療」の実現において診療記録の中央保管は必須であり、時代の流れとともに、中央保管することが標準的な形式となってきました。昭和大学病院は平成9年の中央棟の開設に伴いこの中央保管を実現させ、地下2階に『診療録管理室』を設立しました。



さて、皆さんご存じの通り診療には「外来」と「入院」がありますが、診療記録も同様に「外来」と「入院」それぞれに保管・管理しています。「外来」は一人の患者さんの全診療科の診療記録が1冊に収まっている「1患者1ファイル形式」を採用しており、「システムシングルピッカー」（約8万冊収納）という自動入出庫の書庫に約1年分保管し（その後院内には約3年分保管）、約4500冊の診療記録が日々入出庫されています。一方「入院」は1回の入院ごとに1冊に収まっている「1入院1カルテ形式」を採用しており、「オートラック」（約8万冊収納）による人的な入出庫で約4年分保管し、一日に約100冊の診療記録が病棟より提出されます。そしてこれら診療記録は院内での保管年限を超えると外部倉庫保管となり、10年分を院内規定に基づき保管しています。

このように診療記録を中央保管し、大量の冊数を管理している『診療録管理室』では専門のスタッフが働いています。業務は診療記録の保管形態と同様に「外来係」と「入院係」に分かれており、前者は委託業者による約30名の人員を擁して、予約・再来診療の準備、貸し出し・閲覧の準備、伝票貼付などの業務が組織的に行われています。後者は『診療情報管理士』という職種の職員7名を中心とした約20名の体制で、物理的な業務として入院診療記録の受領、点検、入出庫があり、質的な業務として入院診療録サマリーの疾病分類ならびに疾病統計、*DPCコーディングおよびDPC調査データ作成、診療情報データ検索、診療情報提供（カルテ開示）、がん登録などの多岐に渡る業務を行っています。なお、現在は紙媒体中心の運用ですが、今後は電子カルテに移行していく流れのなかで、『診療録管理室』のあり方も「物（紙）の管理」から「質（情報）の管理」に変化していき、『診療情報管理士』の業務は電子化された診療情報をいかに利用していくかに重点が置かれていきます。

ここまで述べてきたように『診療情報管理士』とは、診療記録を中央で一元管理し、診療記録の量的質的 point check をするとともに、診療記録にある様々な診療情報や患者情報を抽出して集積し、データの二次利用や提供を行っている専門職種です。四病院団体協議会および（財）医療研修推進財団がこの職種の認定を行っており、診療録管理体制など診療報酬算定上も必要な職種であり、当院だけでなく多くの病院で上記のような業務に携わっております。次回から『診療情報管理士』が主に携わっている業務を中心にいくつか代表的なものをご紹介します。

*DPC：入院期間中に治療した病気の中で最も医療資源を投入した一疾患のみに、厚生労働省が定めた1日当たりの定額の点数からなる包括評価部分（入院基本料、検査、投薬、注射等）と、出来高評価部分（手術、胃カメラ、リハビリ等）を組み合わせる方式です。

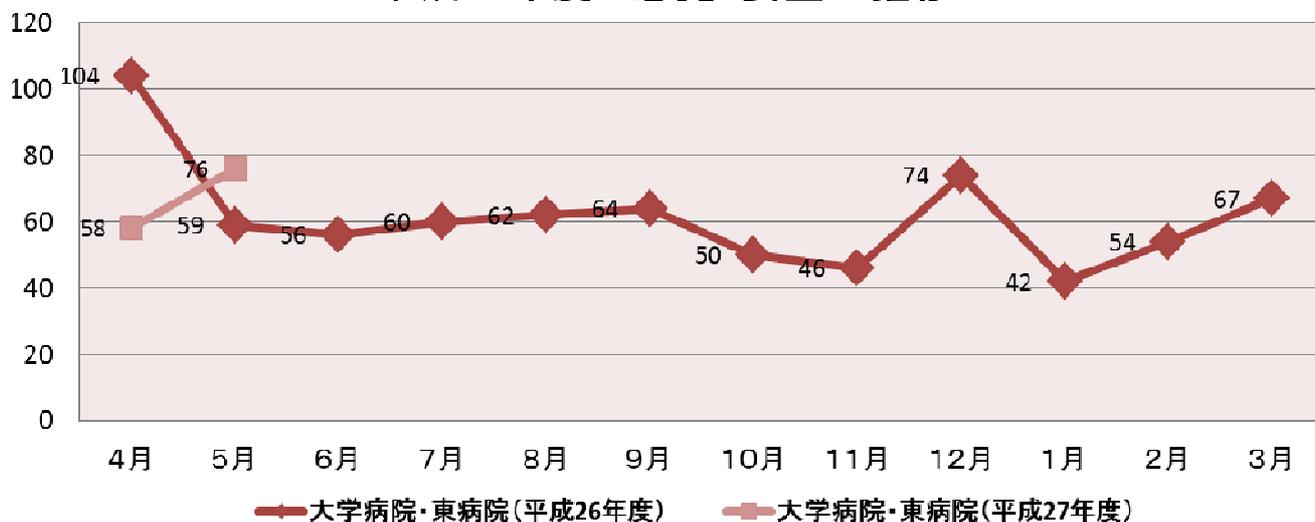
患者さんのご意見・要望

ご意見・要望	回 答	回答 部署
検査結果について、聞かないと教えてもらえないのでしょうか。	この度は大変失礼いたしました。 医師には検査結果について説明する義務があります。しかし、医師も失念する場合がございますので、その場合は積極的にお尋ねください。	管理第一課

平成27年5月
ご意見・要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
76件



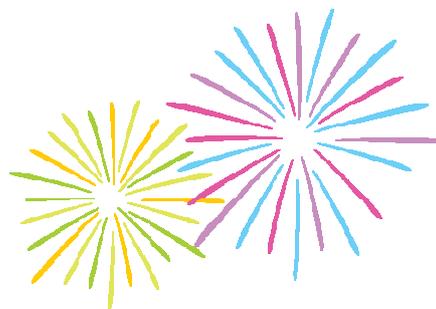
平成27年度ご意見・要望の推移



各種お知らせ

・第67回院内コンサート

日 時：平成27年7月25日（土）15:00～
場 所：中央棟1階エントランスホール
出 演：香蘭女学院クワイヤー・女声コーラス「雅」
内 容：ピアノ伴奏つき合唱



・医療安全・感染対策講習会

日 時：平成27年7月29日（水）
18:00～19:00
場 所：上條講堂
テーマ：医療機器の安全管理／感染対策



編集後記

じめじめとした梅雨の時期は、憂鬱になりがちです。しかし、植物にとっては気持ちが良い季節かもしれません。梅雨の季節だからこそ、きれいに咲く花もあります。紫陽花、花しょうぶ、くちなしなどの涼しげな色合いが、梅雨の季節を色鮮やかに彩ります。雨が降り外に出るのが億劫な時期ですが、これらの花を求めて散歩をしてみるのもいかがでしょう。

この季節が過ぎると、さらに厳しい暑さとの戦いがまっています。しっかりと体調を整え、梅雨の季節を乗り越え、しっかりと夏場を乗りきりましょう。

渡邊 聡

昭和大学病院・附属東病院の理念

- ・患者本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者が受診しやすい、患者のQOLを重視した、質の高い医療を提供する。
- ・地域医療機関との連携を推進し、特定機能病院としての医療を担う。
- ・教育病院としての機能を充実して卒前・卒後の研修・実習及び生涯教育を通して、質の高い医療人の育成を行う。
- ・生命倫理を尊び、科学的根拠に基づいた高度な臨床研究を実施する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jpまでお願いいたします。
病院広報委員会委員： 荒川 千春、板橋 家頭夫、伊藤 亜紀子、加藤 遼、門倉 光隆、河村 満、日下部 まり奈、佐藤 久弥、田代 ゆい、田中 克巳、二木 芳人、平野 勉、吉田 仁、渡邊 聡（50音順）